

〈1年〉

11月を迎えて

町のあちこちに淡紅色の秋桜(コスモス)が咲き誇り、秋の深まりを感じさせてくれる季節になってきました。初めて出場した西部ブロック新人大会では、1年生のがんばる姿が輝いていました。中学生としての貫禄も見られ始めています。一方、慣れからくる生活のマンネリ化に気をつけなければいけない時期でもあります。こんなときこそ、具体的な目標を立ててみましょう。



大島青松園「風の舞」にて



光彫り体験



スマホ安全教室



小・中連合運動会

大島青松園訪問を終えて

10月20日、元ハンセン病患者の方々が療養している「大島青松園」に現地学習に出かけました。実際に自分たちの目で見て、交流を通し、ハンセン病のために社会的偏見と差別、強制隔離に耐えてきた入所者の方々の苦しみを知ることができました。この学習で学んだことをもとに、身近なところから啓発者として、行動していくことが私たちに与えられた使命であると考えます。

魚ならば、海にもぐりても生きん

鳥ならば、空に舞い上がりても逃れん。

五尺の身体、住む処なし、一坪でも、十坪でもよい。

そこにおれば、誰からも文句の言われない土地がほしい。

青木恵哉氏(徳島県出身、大島青松園入園後沖縄に渡り、沖縄哀楽園を築く)

みんなの生活記録から

- ・私は、苦手教科を克服するためには勉強をどうやって楽しむか、どこまで覚えるかが一番大事になってくるので、この二つをがんばりたいです。
- ・大島青松園に行って、ハンセン病のことについて学ぶことができました。学んだことを忘れず、差別や偏見をなくしていけるようにこれからも人権についてしっかり学んでいきたいです。
- ・今日の生活習慣の話聞いて、睡眠は大切なんだなと思いました。中学生になってから寝る時間が少し遅くなったので、気をつけたいです。
- ・食育パワーアップの学習をしました。第6群栄養素の分かりやすい覚え方ができました。栄養のことをしっかり考えて食事をしたいです。